



災害時に取るべき行動や避難方法

間もなく風水害シーズンが到来します。災害時に取るべき行動や避難方法を事前に確認し、災害に備えましょう。

警戒レベルに応じて取るべき行動

災害の警戒レベルに応じて取るべき行動が異なります。避難情報が出たら、速やかに行動しましょう。

災害の警戒レベル	気象庁などの情報			市からの避難情報	市民が取るべき行動
	高潮に関する情報	大雨・土砂災害に関する情報	洪水に関する情報		
5	高潮氾濫発生情報	大雨特別警報	氾濫発生情報	緊急安全確保 [※]	命の危険 直ちに安全確保! ・もしも安全な避難ができていない場合は、今いる場所よりもさらに安全な場所へ直ちに移動する。
~~~~~警戒レベル4までに必ず避難してください~~~~~					
4	高潮警報または高潮特別警報	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	避難指示 ・状況に応じて避難所を追加で開設します。	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。
3	高潮警報に切り替える可能性が高い高潮注意報	大雨警報	氾濫警戒情報 洪水警報	高齢者等避難 ・気象警報(大雨・洪水・暴風・高潮)発表時に自主避難所を開設します。	危険な場所から高齢者などは避難 ・高齢者など以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。
2	高潮注意報	大雨注意報	氾濫注意情報 洪水注意報	—	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップなどで自宅などの災害リスクを再確認する。 ・避難情報の把握手段を再確認する など
1	早期注意情報			—	災害への心構えを高める

危険度

※市が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、必ず発令される情報ではありません。

## 主なハザードマップ

危険箇所を示したハザードマップを事前に確認し、災害に備えましょう。

鈴鹿市防災マップ  
河川氾濫、土砂災害の危険箇所を確認できます。



鈴鹿市内水ハザードマップ (浸水実績図)  
内水氾濫[※]の危険箇所を確認できます。

※豪雨により、道路側溝や下水道、水路からの排水ができずに水があふれること



高潮浸水想定区域図  
高潮浸水の危険箇所を確認できます。



## 市が開設する自主避難所

市では、気象警報(大雨・洪水・暴風・高潮)発表時に、合計27カ所の避難所を開設します。

### ■地区市民センター併設公民館 20カ所

国府・庄野・加佐登・牧田・石薬師・稲生・飯野・河曲・箕田・玉垣・若松・栄・天名・合川・井田川・久間田・椿・深伊沢・鈴峰・庄内

### ■単独公民館 3カ所

一ノ宮・神戸・愛宕

### ■小学校体育館 4カ所

長太・箕田・白子・鼓ヶ浦

## 避難所に行く以外の避難方法

「避難」とは、「難」を「避ける」ことです。避難所に行くことだけが避難ではありません。避難には主に4つの行動があります。自分はどうするのか、普段から避難方法について考えておきましょう。

市が開設した避難所  
への立退き避難



安全な親戚・知人宅  
への立退き避難



安全なホテル・旅館  
への立退き避難



屋内安全確保



※屋内で安全を確保  
するためには、3つ  
の条件があります。

### 屋内にとどまり安全を確保するための「3つの条件」

1 家屋倒壊等氾濫想定  
区域でないこと

2 想定される浸水の深さ  
より居室が高いこと

3 水が引くまでの水や食料  
などの備えが十分である  
こと

※土砂災害の危険がある区域では、立退き避難をしてください。

## 市からの避難情報

市では、さまざまな防災気象情報を活用し、「鈴鹿市避難情報の判断・伝達マニュアル」に基づいて、避難情報を発令しています。

鈴鹿市避難情報の  
判断・伝達マニュアル



気象情報や避難情報など  
の取得方法については、本号  
4・5ページの特集をご覧ください。

